

お知らせ

†「だれでも人々の前で自分をわたしの仲間である言い表す者は……」

- ☆ 6月21日(日) 年間第12主日 父の日 ミサ後、大楠教会信徒総会を行います。
- ☆ 6月28日(日) 年間第13主日
- ☆ 7月5日(日) 年間第14主日 ミサ後、教会委員会を行います。
- ☆ 7月12日(日) 年間第15主日
教区創立100周年・3年目の歩みの始まりミサ 久留米教会 10:00～
- ☆ 7月2日(木)～8月3日(月) ジョンソン神父様 休暇のため不在 この期間の「聖書勉強会」と「いつくしみのチャプレット」はお休みとなります。
- ☆ 「福岡教区ハンドブック 2026」が来ています。1冊100円以上の献金のご協力をお願いします。
- ☆ 誕生会について：今月に誕生日を祝う人は第3日曜日までに用紙に名前を書いて下さい。
- ☆ 門の開閉について、平日は防犯上、教会に出入りのたびに門を閉めていただくよう協力お願いいたします。

朗読当番：



カトリック大楠教会ホームページ：<https://www.ogusu-catholic-church.com/>

6月の祈りの意向

教皇の意向：スポーツの価値

スポーツが、国家間や異文化間の平和、出会い、対話の道具となり、尊厳、連帯、個人の成長といった価値を高めるものとなりますように。

日本の教会の意向：教皇

教皇レオ14世のために祈ります。教会に与えられた牧者が、神の恵みに満たされて、教会と世界の善のために奉仕していくことができますように。

共同祈願：

1. 洗礼の恵みによってキリストを述べ伝える使命をいただいている私たち一人ひとりも、聖霊と聖書の言葉に導かれて、キリストの価値観を日常生活の中で活かしていくことができますように。

主は言われる、「恐れるな！」

今日の朗読は本当に素晴らしいものであり、私たちの霊的生活の中心にある「恐れ」について語っています。

1992年、15歳のときに小神学校へ入学した私に、霊的指導神父様は二つの質問をしてくださいました。

第一に、「あなたは心の底で何を求めていますか？」

第二に、「あなたは心の底で何を恐れていますか？」

この二つの質問に答えるためには、自分自身を深く知る必要があります。

そのことを心に留めながら、第一朗読のエレミヤ書(エレミヤ 20・10-13)を黙想してみましよう。

預言者エレミヤは神から召されました。しかし、彼がイスラエルの民に伝えるよう命じられたのは、厳しいメッセージでした。そして主が告げられたとおりのことが起こります。人々は彼の言葉に耳を傾けず、ついには彼を憎むようになりました。エレミヤはこう言います。

「わたしには聞こえています、多くの人の非難が、『恐怖が四方から迫る』と彼らは言う。『共に彼を弾劾しよう』と。わたしの味方だった者も皆、わたしがつまづくのを待ち構えている。」

これは、恐れと絶望のただ中にいるエレミヤの姿です。神の言葉を伝えるために召されたにもかかわらず、人々は彼を嫌い、非難し、攻撃しました。

私たちが人生の中で同じような経験をすることがあります。何をやってもうまくいかないと感じることがあります。精一杯努力しても報われず、失敗ばかりに思えることがあります。

そのような中でエレミヤはこう告白します。

「しかし主は、恐るべき勇士としてわたしと共におられる。」

大きな恐れの中、彼はより深い平安を見いだしました。皆が自分に敵対しているように見える中でも、神が共にいてくださることを知っていたからです。

ここで大切なのは、神が私たちの味方であるからといって、恐れそのものが消えるわけではないということです。神を信じる者が必ずしもこの世で成功するとは限りません。

実際、エレミヤの人生は人間的に見れば失敗の連続でした。彼は多くの迫害を受け、人々から拒絶されました。しかし、そのような状況の中でも、神が「恐るべき勇士」として共にいてくださることを知り、平安を保ち続けたのです。

このことを心に留めながら、今日の福音(マタイ 10・26-33)を見てみましょう。

イエス様は十二人の弟子たちにこう言われます。

「人々を恐れてはならない。」

「体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。」

では、魂とは何でしょうか。魂とは、私たちの存在の最も深い中心であり、神と結ばれる場所です。

私たちは人生の中で多くの恐れに囲まれています。失敗への恐れ、人からどう思われるかという恐れ、将来への不安。しかし、私たちの魂は神と結ばれており、その魂を通して私たちは神の力と愛に触れることができます。

皆さんは何を恐れていますか。失敗することですか。夢がかなわないことですか。人々から批判されることですか。しかしイエス様は福音(マタイ 10・26-33)に言われます。

「体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。」

「魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。」

これは、人々を恐れるのではなく、神への畏れを持ちなさいという意味です。

神への畏れとは、神を恐怖の対象として恐れることではありません。神を深く敬い、神との交わりを失うことを恐れる心です。魂は本来、神と結ばれるように造られています。しかし罪によって神から離れてしまうことがあります。神を無視し、自分中心に生きるとき、魂はその命の源である神とのつながりを失ってしまいます。

だからこそ今日の御言葉は、「本当に恐れるべきことは何か」を私たちに教えているのです。

人々の批判ではありません。失敗でもありません。

神とのつながりを失うことこそ、私たちが最も恐れるべきことなのです。

今日は主の御言葉を心に刻みましょう。

「恐れるな。わたしはあなたと共にいる。」(イザヤ書 41・10)

「恐れるな。あなたがたは多くの雀よりもはるかに価値ある者だからである。」(マタイ 10・31)

主への信頼のうちに、一週間を歩んでまいりましょう。アーメン。